



# 光ぞ晴れた

所在地 〒950-3343  
新潟市北区上土地龜4981番地  
電話番号 025-387-2412  
E-mail j108kousei@city-niigata.ed.jp  
学校 HP <http://www.kousei.city-niigata.ed.jp>

## 期待すること～人は善くなろうとしている存在である～

校長

令和7年も残すところあと少しとなりました。保護者の皆さん、地域の皆さんには、今年1年間の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。

### 【12月19日 全校集会での話より】

インフルエンザによる学年閉鎖の影響で、日程をすこし延ばして行われた生徒会役員選挙でしたが、来年度を担う新生徒会三役・4名が二年生から選出されました。

去る12月5日の集会で、この4名に全校生徒の前で委嘱状を校長より手渡し、令和8年度に向けた生徒会活動が動き出しました。これから新しい専門委員長の選出も始まります。

この学校だよりには、新役員の熱意溢れる決意が語られています。一人一人言葉は違いますが、来年の光晴中学校をこうしていきたい！という思いが伝わってきます。

ところで、「性善説(せいぜんせつ)」とか「性悪説(せいあくせつ)」といったことばを耳にしたことがある人はいますか？人とはどんな本性(もとからもっている性質)をもっているのか、二千年以上も前の古代中国で生まれた考え方です。ものすごく大雑把に言うと、「性善説」は、「本来人は善(よいもの)なので、教育することで立派になれる」という考え方、「性悪説」は「本来人は利己的なので、よいことをするように教育をしなければならない」という考え方です。どちらの考え方も、ゴールは同じで、「社会」できちんと自分をまとうできる人に育てていこう、という教育についての考え方を示しています。

数千年間議論がされていますが、どちらが正しいのか決着はついていません。

私も教員をしながら、どちらのかなあと思いをめぐらすこともありましたが、あるとき、この二つではない別な考え方を知りました。

それは「性善向説(せいぜんこうせつ)」といい、「人は本来、善(よ)くなろうとしている存在である」という考え方です。「よりよくなろう」「今より、もっとよくしていこう」と思って、そうなるように取り組もうとすることは、人間の本性なのだという教育の考え方です。この考え方を知った時、私にはとても納得をするものがありました。

なぜなら、この考え方は、教育という枠組みだけにとどまるものではなく、「世の中」という「社会」の中で人が生きていくうえでも大事な考え方には通じていると思ったからです。

いま、生徒の皆さんのが生活する中学校という場は、いってしまえば皆さんの「社会」です。この「(学校)社会」は、いずれやってくる(3年生にとっては数か月後ですが)、「世の中」という「(大きな)社会」で生きていくための「生き方」の基礎を学ぶところです。

学校生活を「よりよくしたい」という営みは、必ず大人になった皆さんの「生き方」を支える大事な経験となります。新役員の皆さんからは、ぜひとも、考えていることの実現に向けて、まず一步を踏み出していただきたいと思いますし、それを支える全校の皆さんから、一緒になって「よりよい学校」を目指してほしいと思います。よろしくお願ひします。

# 明確なビジョンと実行力

2学年主任

2年生後期を迎えて、来年度へ向けて「進路学習」と「リーダー育成」が本格的に始まった。

2年生の現状をいえば、現在の自分の立場を理解して前向きに学習に取り組む生徒もいれば、現状に向き合えず自己中心的な生徒も多い。平気で遅刻する生徒、授業道具が揃わない生徒、公共物の破損や他人を誹謗中傷する行為も依然存在する。

私はこれらの諸問題を教師だけの力で解決するのではなく、生徒会を中心とした生徒の力も効果的に生かして解決していきたいと考えている。今回の生徒会選挙で立候補した生徒には来年度のビジョンについて明確に考えてもらった。その中で次のような魅力的なアイディアが提案された。

- ① iPad の正しい使用と学習規律の向上…宮村陽大(生徒会長)
- ② スポーツを通した異学年交流の活性化…池田旭(副会長)
- ③ いじめの実態調査と工夫した改善方法…本間風花(副会長)
- ④ 体育祭、合唱祭をより充実させる新しい取り組み…宮崎萌杏(書記長)

新三役に選ばれた4名は責任感が強く、リーダーとして信頼のおける生徒です。今回の公約を考案するため何度も協力者とミーティングを重ね、分かりやすいプレゼン資料を作成してもらいました。次は実行力。この4名なら明るい学校をつくってくれると信じています。

## リーダーの立場になった人たちへ

令和7年度 生徒会長

私は、令和7年度の生徒会長として生徒会総務で活動してきました。この1年間で学んだことをお伝えします。皆さんのアドバイスになると嬉しいです。

今年度の活動では、生徒会入会式や体育祭などの大きな企画をうまく成功させることができました。ですが、計画性がなく、活動の準備に時間がかかったり、話し合いに時間を割かれたりとバタバタすることがたくさんありました。そんな経験を得て3つの大切なことに気がつきました。

1つ目は「計画を立て、先を見て行動すること」です。2つ目は「決め事が決まらないときは誰かが率先して判断を出すこと」です。そして3つ目は「困ったことがあつたら、必ず誰かに相談すること」です。特に3つ目の「必ず誰かに相談すること」は絶対に実践してほしいと思っています。私も公約を達成するために、他の生徒会総務のメンバーや先生方だけでなく、友達や両親にまで相談をしてきました。大変なことも多いですが、必ずうまく行きます。どうしても心配な時は、「自分なら大丈夫。いける。絶対なんとかなる。」と何度も言葉にしてみてください。きっと不安が吹き飛びます。

これから生徒会活動を担う新生徒会の皆さん、どんなに失敗してもきっと大丈夫。ポジティブな考えを持って、からの経験を大切に頑張ってください。

## One for all, All for one

生徒会長

私が目指す光晴中学校は、仲間一人一人が支え合い、助け合うことで、これまでより大きな挑戦に踏み出せる学校です。一人では難しいことも、仲間と協力し合えば乗り越えられる。そんな力を学校全体で育てていきたいと考えています。そのために、私は二つの公約を掲げました。

一つ目は「光霧塾の発展」です。これまで光霧塾は主に上級生の参加が中心でしたが、今後は下級生にも参加してもらい、学年を越えて学び合える場に広げていきます。上級生が下級生を教えることで、お互いの学びが深まり、助け合いの輪が学校全体に広がり『みんなで学び合う場』になるはずです。こうした環境こそが、仲間とともに大きな挑戦に向かって進む力を育てます。

二つ目は「iPad の使い方の見直し」です。GIGA メソッドの基本ルールをもう一度確認し、全校で正しい使い方を共有します。また、アンケートを行い、よりよい活用方法をみんなで考えていきます。iPad を正しく使えるようになれば、学習や活動での協力がスムーズになり、より高い目標にも挑めるようになります。

そして、来年度共に過ごす全校の皆さんには、互いを支え合い、協力しながら前向きに挑戦する姿勢を大切にしてほしいと思います。「One for all, All for one」を合言葉に、みんなでより良い光晴中学校をつくっていきましょう。

## 皆さんと創り出す、新しい学校生活

副会長

私は、皆さん一人一人が自分たちで新しい学校を創りだせるような環境を目指しています。そのため私は、「繋ぐ・伝える・作り出す」という公約を掲げています。この公約には、「人と人との繋ぐ、意見や要望を伝え合う、自分たちで新しい環境を創りだす」という意味が込められています。この公約を実現するため、私は二つの活動を行おうと考えています。

一つ目は、全校で楽しめるクラス対抗スポーツ大会の開催です。私はこのような企画で全校が一つの目標に向かって取り組むことで、人と人との繋げる力が育っていくと思います。普段関わりがない人でもこのような企画があると関わりを持ちやすく、学校が活気で溢れるはずです。

二つ目は、目安箱の利用の推進と、寄せられた意見を基にした学校改善と掲示です。多くの意見を集めるために、終学活の時間を使って定期的に意見を集め、生徒会で改善し、その結果を見る化掲示板を使って皆さんに伝えていきます。

私はこれらの活動を通じて、皆さん一人一人が「自分の学校は自分たちで創る」という意識を持ってほしいと考えています。私はこれまでの経験を生かし、生徒会男子副会長として全力で取り組み、皆さんと共に、活気ある学校を創り出していくます。これからも活躍を見守り、応援してくれると嬉しいです。

## みんなだれかの宝物

副会長

私は、公約を考える際、いじめについて着目しました。私は、いじめられている人のほとんどが自分の気持ちを言葉にできず、話したくても話せない人が多いと考えたので、そんな人たちの心の声に周りの人がもっと耳を傾けられる光晴中学校にしたいと思いました。

私の公約は「話すこと 聞くこと それが“つながる”第一歩」です。この公約を実現するため、定期的ないじめについてのアンケートの実施や、いじめ減少・防止活動の開催を考えています。このくらいではいじめに発展しないだろうと軽率に行われた行為や「これっていじめ？」と疑問に思ったこと、自分が正しく行動できしたことなど、アンケートを通して全校生徒の心の声を聞きます。

いじめ減少・防止活動では、どこからがいじめになるのか、いじめの恐ろしさとは何か、など、異学年で話し合い、いじめについての考えを深めます。他にもロールプレイをして改善に向けて考え、いじめの減少・防止につなげたいと思います。ロールプレイとは、「役割(role)」と「演じる(play)」を組み合わせた言葉で、実際のいじめの場面や状況を想定し、いじめる側といじめられる側、傍観者になりきって疑似体験をしながらいじめの解決能力を学ぶ方法です。

みなさんは、光晴中学校の生徒という前に1人の人間で、みんなだれかの宝物だということを日々、忘れないでいてほしいと思います。

## 笑顔溢れる、最高の思い出

書記局長

私は笑顔が溢れ、みんなにとって最高の思い出になる行事の学校にしていきたいです。そのためには「笑顔溢れる、最高の思い出」という公約を掲げ、行事の充実化に取り組みます。

具体的な取り組みとして、まず体育祭では先生方や岡方中学校の皆さんと共に楽しめる参加型の企画を考えています。その中の一つとして私は「選抜リレー」ができたらしいなと思っています。体育祭のフィナーレである選抜リレーに光晴中の代表チーム、岡方中の代表チーム、先生チームの5軍でリレーを争えば見ている方も、走る方も楽しさは倍増するのではないかと 생각ました。

次に合唱祭では、今年からクラス間の優劣をつける賞がなくなりましたが、代わりに互いのクラスの良かった点を評価しあって、「○○賞」を作り各クラスへ送りたいと考えています。合唱祭の後、振り返りシートを書く際に各クラスの良かった所を記入する欄を設け、その結果をもとに本部と実行委員で賞を設定していきます。こうした賞を作ることで全校のやる気や達成感が高まるのではないかと考えました。

また、大きな行事が終わった後には、実行委員だけではなく、一般の生徒や保護者からも行事の事後アンケートをとり、良かった点や改善点などの声を幅広く取り入れ来年度へ繋げたいと考えています。これにより、これまでにはなかった視点で行事の振り返りができると思います。

来年度、共に活動していく皆さんには、特に行事へ全力で取り組み、最高の思い出を残してもらいたいと願っています。全校みんなで活気に満ちた、明るい光晴中学校にしていきましょう。